

専門領域別研究発表 | 専門領域別：体育哲学

2023年9月1日(金) 13:15 ~ 14:16 | RY203 良心館2階 R Y 2 0 3 番教室

体育哲学／口頭発表②

座長：高橋 徹（岡山大学）

13:15 ~ 13:45

[00哲-口-03] スポーツ実践の契機としての他者

スポーツ文化の捉え直しに向けたスポーツ実践者論

*岸川 昂平¹ (1. 筑波大学大学院)

13:46 ~ 14:16

[00哲-口-04] スポーツ概念の競争的性格と教育的性格に関する批判的検討

*佐藤 雄哉¹ (1. 国士舘大学)

体育哲学／口頭発表②

座長：高橋 徹（岡山大学）

2023年9月1日(金) 13:15 ～ 14:16 RY203 (良心館2階 R Y 2 0 3 番教室)

13:15 ～ 13:45

[00哲-口-03]スポーツ実践の契機としての他者

スポーツ文化の捉え直しに向けたスポーツ実践者論

*岸川 昂平¹ (1. 筑波大学大学院)

スポーツ文化の意義や価値が語られる時、それはオリンピック大会に結びつけられることが多い。しかし、スポーツ文化の意義や価値は、オリンピック大会にだけ存するのではなく、むしろそれは、オリンピック大会に縁遠い草の根のスポーツ実践者が存在することにあるのではないだろうか。例えば、フルマラソンへの挑戦に向けて日々ランニングに取り組む人や、週末に仲間とゴルフを楽しむ人がある。このようなスポーツ実践者の存在を掬うことを抜きにして、スポーツ文化の意義や価値は見えてこないと考える。

では、なぜ彼らはスポーツをするのだろうか。この問いに対して先行研究は、スポーツ実践者を能動的にスポーツ実践に向かう存在であると捉え、スポーツ実践者の有り様を示してきた。しかし、スポーツ実践者がランニングやゴルフを始める契機は、必ずしも能動的であるとは限らない。例えば誰かに誘われて始める場合もあることからすれば、彼らのスポーツ実践の契機は、受動的であるとさえ言える。したがって、先行研究には、スポーツ実践者のスポーツ実践の契機の検討として不十分な点がある。

以上を踏まえて、本発表の目的は、スポーツ実践者のスポーツ実践の契機に着目し、そこに何があるのかを明らかにすることである。そうすることによって、スポーツ文化を捉え直すための1つの視座を得ることができると考える。本発表では特に、「誕生」という概念を援用して考察を進めていく。人間が誕生するには親を必要とするように、スポーツ実践者がスポーツ実践を始めるその契機にも、何らかの他者を必要とするだろう。ただし、他者がいれば必ずスポーツを実践し始めるわけでもないため、スポーツ実践の契機は、偶然の様相を呈する謎に満ちたものである。本発表を通して、他者の存在が必要条件であると考えられるスポーツ実践の契機の内実を掘り下げてみたい。

専門領域別研究発表 | 専門領域別 | 体育哲学

体育哲学／口頭発表②

座長：高橋 徹（岡山大学）

2023年9月1日(金) 13:15 ～ 14:16 RY203 (良心館2階 R Y 2 0 3 番教室)

13:46 ～ 14:16

[00哲-口-04]スポーツ概念の競争的性格と教育的性格に関する批判的検討

*佐藤 雄哉¹ (1. 国土館大学)

2022年、全日本柔道連盟は「勝利至上主義」の蔓延が心身の発達を阻害するとして、全国小学生学年別柔道大会を廃止した。それはスポーツの「教育的性格」が、競争の過熱に伴い希薄化していったことを公に認める、歴史的な事例と言えよう。そしてそのような事例は「競争のない運動会」や「競技会へ参加しないスポーツ少年団」等、スポーツ活動から「競争的性格」を取り除こうとする動きに波及していくこともある。もちろん、これらの活動の大半は心身の成熟が不十分である学童期を対象としており、子どもの成長段階において競争の過熱が注意すべき問題であることに疑いの余地はない。但し、競争と教育の分離を意図した活動が散見されるという事実からは、スポーツ界における競争と教育の均衡が近年崩れつつある現状が見て取れよう。スポーツの競争概念は、その本来的な姿を探る上で有用な視点であり、またそれは教育的性格としての運動の楽しさや、充実感を体験することの大切さを問う上でも重要である。すなわち、競争概念はスポーツにおいて、本来的かつ教育可能性を補完する概念として捉えることもできるのである。本研究は、スポーツの競争概念を批判的に検討しつつ、スポーツ活動がどのように人間を育み形成していくのかという問題を、「型の概念」「身体技法の洗練化」「優劣を超越する競争の作法」という3つの視点から考察することを目的とする。そしてそれは、アスリートの勝利至上主義を経て生起する「競技スポーツによる人間形成」試論でもある。